

巻末情報ページ

このページは直接学習とは関係ありません。
情報としてお役立てください。

レポート作成の秘訣 60

〈連載コラム〉これからを考える 62

在学生アンケートにご協力ください 63
聖徳通信掲載用 在学生アンケート「春期スクーリング」



レポート作成の秘訣

レポートを提出してもなかなか合格できずに悩んでいる方や、レポートってどうやって書けばいいのか分からないという方へ。通信教育学務課では卒業生を対象としたアンケートを実施しました。先輩の意見を参考に、今後の学習に活かしてみたいはいかがでしょうか。

保育科 埼玉県在住 平成24年9月卒業

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A レポートを書くにあたり、まず、迷っては始められないので、とりあえず書いてみるのが一番だと思います。初めは、書き方もどうしたら合格レポートとなるのかなど全く分からなくて当然なので自分のまとめたものを書いて提出するのが良いと思います。次第に書き方のコツや、自分の書き方の間違っている部分も分かってくると思います。

また、行き詰まった時は、一つの教科ばかりではなく、2つ目、3つ目の課題に取り組むなどして、一旦、行き詰まった教科から離れてみると良いかも知れません。レポート課題は、たくさんあるので、次へ次へと進めて行くと良いと思います。

レポートを書く事自体が嫌になることもあると思います。そんな時は、勉強を少し忘れ、息抜きも大事です。私は全くやる気がおきず、1・2ヶ月勉強から離れた事もありました。しかし、息抜き後、またあらたにやる気がおき、進めることが出来ました。また友達との情報交換は、本当に役に立ちます。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A レポートの取り組みですが、私は基本自宅学習でした。まずは図書館で本を借り、家族の居るリビングで学習していました。毎日少しずつ勉強という環境(子どもがいる為)ではなかったので、週末の夜をレポートの時間としていました。大体週末は、10時~12時ぐらいを目安に取り組みました。しかし、科目終了試験がある時は、週末の夜だけでは、間に合わないの、平日の夜も少しずつ取り組むようにしていました。

私は音があると、集中できないので、レポートの情報収集は、家族が起きている時間も活用していましたが、まとめる時は、一人の時間が出来る夜中にやっていました。

時間の取り方は、さまざまですが、夜の方が、私には適した学習時間として取り組み頑張りました。でもなかなか子どもが寝てくれず、私自身が眠くなってしまい、学習できなかったという日も多々ありましたが…

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 保育科で子どもの事を学びましたが、もっともっと子どもの事を学びたいと思い、児童学科に編入しました。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A レポートを書くにあたり、私の場合は教科書をよく読み、自分なりにノートにまとめる事から始めました。そうする事でこの科目は何を学ぶのか、また著者が何度も訴えている事等を、理解することができます。その後に、参考文献を読めば書くべき事がわかります。そして、レポートの課題をよく考え、自分なりに主題を決めそれについて書きました。例えば、主題を6つとしたら、400字ずつにまとめれば、2400字になるわけです。そして、少し多めに書きながらまとめていきました。文章は増やすことは難しいですが、減らしていくと、まとまっていき、大切な事だけが文章として残っていきます。この作業を地道に続けることで、レポートを書くコツがつかめたように思います。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私の場合は、朝と夕方の時間外保育の仕事をしていましたので、時間はとにかく、細かく管理していました。いちばん集中できるのは、早朝ということがわかり、仕事に行く前の朝5時から6時は、学習の時間と決めていました。日中は、ピアノを練習したり、時間を作っては、30分教科書をまとめたら、買い物に行こう等と、自分なりに、スケジュールを管理していました。また教科書を広げると眠くなったりすることが多々あり、その時は、ピアノを弾いて眠気をさました。

また、試験を受ける日を始めに設定しました。そうすることで、レポート提出日も決まります。さらに教科書を何ページずつやれば、レポートに取りかかる日も決まります。とにかく、予定表を作り、細かく〇日は教科書何ページから何ページ等と書き込んでいました。そして、予定通りにいかない時は、予定を組み替えたりしながら目標(試験)にむかって、進めていきました。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A ピアノを練習しないとすぐに指が動かなくなってしまいます。今は、「幼児とともに」の中から、レパートリーを増やすようにしています。早く子どもたちの前で堂々と弾けるようになりたいと思っています。

Q レポートを書くにあたり、アドバイスやポイント、行き詰まった時の対処方法などを教えてください。

A レポート作成のポイントとしては、課題に対してとにかく忠実に、という一言につきると思います。たとえば「Aについて述べよ」とあるのに、関連するBについての記述が大半になってしまったり、「～について論ぜよ」とあるのに、箇条書きにして書いてしまったり、などということがないように注意する必要があります。一生懸命取り組んでいるうちに、問われている論点を見失ってしまった、ということは私もあります。レポート作成途中にも、課題は何度も読み返すことで、頂上から目を離さないようにしましょう。また、「例をあげて」という指示がなされていた場合には、課題を貫いている論点に沿ったケースを簡潔にまとめてレポート中に組み込みます。身近な例でなくても、新聞記事や日々のニュースからヒントを得られることがあります。

Q どのように取組んだか、場所や習慣、1日のタイムスケジュールなども含めて教えてください。

A 私は、計画的に学習を進めることがあまり得意でなかったため、スクーリング受講要件の締め切りを一つの目安としてレポートに取り組みました。書けない時、取り組む気分になれない時、というのは誰にでもあると思います。思い切って投げ出し、違う科目に取り掛かったら却ってそのほうが早く進んだ、ということもありました。そして、何か「これならうまくいった」というおまじないのようなものをもつこともいいかもしれません。

私は、レポートの下書きは、字数のカウントのためワープロで作成しましたが、その後レポート用紙にすべて手書きで清書し、提出しました。手書き清書の際に、文章作法のミスを発見することもありました。ゲルインキボールペンは10本以上消費しましたが、あのボールペンだとやる気が出る！というような気持ちが、今もしています(笑)。

Q 卒業してから取組んでいることを教えてください。

A 仕事と家事に追われつつ、大学院入試を視野に頑張っています。

これからを**考**える。

聖徳大学の学びのフィールドは広く、あらゆる方面に実績を残しています。

各学科の教員が発信する、さまざまな学問分野の魅力がたくさん詰まった“連載コラム これからを考える”をお楽しみください。

10

総合文化学科 教授

野中 博史 〈担当科目：コミュニケーション論(旧カリキュラム科目)〉

「情報受容と思考の形成 —何故メディアに騙されるか—」



人は情報をどのように受容し、感情や思考を形成していくのか。人々の思考や感情の集合である世論が、統治者の政治そのものに影響を与える民主主義社会にあって、情報を提供するメディアの報道の在り方は、政治の動向を

左右し、ひいては人々の生活に影響を及ぼす。その意味で、メディアの伝え方と人々の情報受容の在り方は、政治や社会の在り方を考えるうえで極めて重要な要素である。

筆者はこうしたメディアの伝え方と人々の情報受容の特性を研究しているが、結論から言うと、人はメディアの情報を無批判に受け入れやすい。真実であるかどうか、根拠があるかどうか、などといったことをいちいち考慮して受容するわけではない。新聞であれば、書かれている内容や言葉が、その人があらかじめ持っている思考パターンやイメージ（先有傾向）と合致するか否かによって受容するかしないかを決めることが多い。

例えば、筆者が「心臓病の患者の手術をする際に、多くの他人が手術の成功を祈ると治療効果が高まる」という嘘の記事を作成して、それを信じるか否かの実験をしたところ、高校生では平均75%、大学生では平均50%の被験者が、記事の内容を信じた。またその理由を聞いたところ「霊的な能力を昔から信じていたから」とか「そういうことがあればいい」と答えた被験者が大半であった。「科学的にありえない」、「実験の間違いではないか」といった批判的に情

報を把握する被験者は高校生で10%未満、大学生で20%程度にとどまった。

合理的に考えて、懐疑心を抱いて当然と思われる情報であっても、人は情報を素直に受け入れる。かねてから抱いていた考えや希望に沿う情報に対しては、一も二もなく信じてしまう。どうもそれは人間の特性であるようだ。一も二もなく信じるとは思考停止と同義語である。多くの情報が氾濫する現在、メディアの情報を素直に受け入れることは、メディアに騙されることを覚悟しなければならない。改革という名の下に消費税法案の成立推進に関わる情報を流し続けた大手メディアは、成立が決定的になった瞬間に、「中間層に重い負担」などと問題点を指摘し始めた。我々は大手メディアに騙されたのではないだろうか？

マスコミ学は今や社会心理学や認知神経科学の分野に入ってきている。情報の受容と思考形成に関する自然科学的アプローチに関心のある方には、下條信輔の「サブリミナル・マインド」(ちくま新書：900円)、池内了の「疑似科学入門」(岩波新書：700円)、小森陽一の「心脳コントロール社会」(ちくま新書：680円)、ロバート・パークの「わたしたちはなぜ科学にだまされるか」(主婦の友社：1900円)をお勧めする。



アンケートにご協力ください。
切り離して手順通りに折り、そのままポストに
投函してください。

FAXで送信して下さる方は、この
面を下記番号までお送りください。 **047-331-7422**

オンライン聖徳通信アンケートにもご協力ください。
http://www.seitoku.jp/tk/tk_info/tk_info.html

こんにちは『聖徳通信』です！

『聖徳通信』では、学習上で役立つ情報のさらなる充実を目指し、アンケートを定期的に行っております。
今回のテーマは「**春期スクーリング**」です。以下の項目にしたがって、回答してください。回答できる項目だけでも結構です。聖徳通信を通して学友のみなさんと情報交換をしましょう。
※強制するものではありません。

◆学科および在住県 _____ 学科 _____ 県在住 (掲載必須)
◆氏名(イニシャル可) _____ (掲載可能な場合のみ記載)

Q1 スクーリングの受講履歴を教えてください(科目数)。

A1 未だない 1科目~3科目 10科目以下 10科目以上

Q2 スクーリングを受講する上で悩みがあればお聞かせください。

A2 時間や日数の確保 距離が遠い
その他(_____)

Q3 春期スクーリングを受講された感想をお聞かせください。
エピソードやこれから受講をされる人へのアドバイスなどもお待ちしております。

A3 [_____]

Q4 春期スクーリング受講で印象に残っている科目はありますか。

A4 科目名: [_____]
理由: [_____]

●今春卒業を迎える卒業生のみなさんにメッセージをお寄せください。

●今後取り上げて欲しいテーマやご意見、ご要望がありましたらお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。
通信教育学務課 『聖徳通信2月号』アンケート係

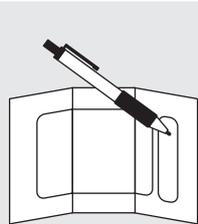
キ
ー
ボ
ー
ド

点線のまゝの中のにりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

点線のまゝの中のにりをつけて、
のりしろ②にはりつけてください。

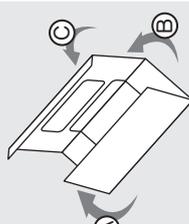
アンケートの郵送手順

1



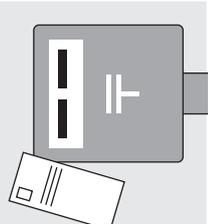
本誌から切取り
アンケートを
ご記入ください。

2



のりを塗り、
④③②の順番で
折り込んで
ください。

3



切手を貼らずに
ポストに投函
してください。

FAXでも受付けています

アンケートは郵送だけでなく、FAXでも受付けています。
下記番号までお送りください。

聖徳大学 通信教育学務課

FAX047-331-7422

ヤマ折り

②ヨリ

ヤマ折り

271-8750

千葉県松戸市岩瀬550
聖徳大学5号館2階

聖徳大学 通信教育学務課
聖徳通信アンケート係行



料金受取人払郵便

松戸支店承認

1030

差出有効期限
平成26年2月
25日まで
(切手不要)

ヤマ折り

この部分を折って封をしください。